

科目名	対象学科・学年 教育教職 2 年生	担当者
総合演習Ⅱ		三宅 奎介
授業テーマ 児童期・思春期の子どもの問題行動の実態を把握し、その指導方法を調査・研究する。		
授業の概要と目標 学校ではいじめ、非行、校内暴力など子どもの問題行動が依然として多い。さらに、不登校や学習意欲の欠如・減退などの問題も抱えている。本演習では子どもの内に隠されている心の葛藤や生活の実態を探究するための基礎として、多様な角度から児童期・思春期問題について調査・研究する。受講者は実践報告を分析したり、現場教師と話しあったりして学校の実態を把握し、問題解決のために各自がテーマを設定し、発表・討論しながら指導方法を研究する。これからは特に教師の力量が問われる。受講生自らが研究する姿勢を大事にしながら、演習をすすめる。		
評価方法 授業目的の到達度の判断として ①発表内容（50％）②討論への主体的参加および授業への姿勢（25％）③自己および相互評価（25％）を基準に総合的に決定する。		
テキスト なし	著者	出版社
参考書 ・ 漫画「光とともに」 ・ 図書「子どもが壊れる家」 ＊ さらに 授業で適宜、参考書籍を紹介	著者 戸部けい子 草薙厚子	出版社 秋田書店 文春新書
授業スケジュール・内容		
第1講	オリエンテーション ・ 授業の内容と演習のすすめ方 ・ 自己紹介	
第2講	今の教育にどんな課題があるのだろう ・ 教育再生会議から ・ 学校現場から	
第3講	研究課題の設定 ・ 現在の学校教育の課題の上に立ち、研究課題を検討し、計画を作成する。	
第4講	問題行動とその背景 ・ その子の問題行動をどう捉えるか ・ 漫画「光とともに」	
第5講	問題行動とその背景 そのⅡ ・ その子の問題行動をどう捉えるか ・ 図書「子どもが壊れる家」	
第6講	課題解決の追求・研究① ・ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第7講	課題解決の追求・研究② ・ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第8講	課題解決の追求・研究③ ・ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第9講	実践アクセス講義 子どものやる気をどう引き出すか （ゲストティーチャー授業） ・ 実地調査・見学、調査資料・記録等を収集し、研究報告の作成をする。	
第10講	研究報告会・評価会① ・ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第11講	研究報告会・評価会② ・ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第12講	研究報告会・評価会③ ・ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第13講	研究報告会・評価会④ 研究結果について口頭・パネル等で発表する。ならびに自己評価と相互評価をする。	
第14講	課題の整理と研究のまとめ	
第15講	定期試験	